
2016年3月10日

Flowchart_Excel_AddIn

使用説明書

Version 3.0

By : はぐれ雲

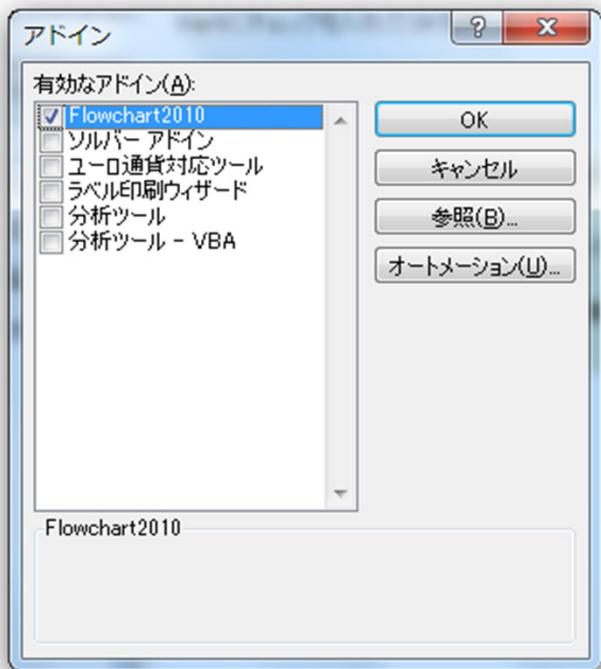


1. 初期設定

[アドインの有効化]

- ① Flowchart2010.xlamをアドインフォルダへ置きます。
Windows 7: C:\ユーザー\ユーザー名\AppData\Roaming\Microsoft\AddIns

- ② Excelを起動して開発タブ>アドインを選択し、開いたダイアログでFlowchart2010にチェックを入れてOKを押します。



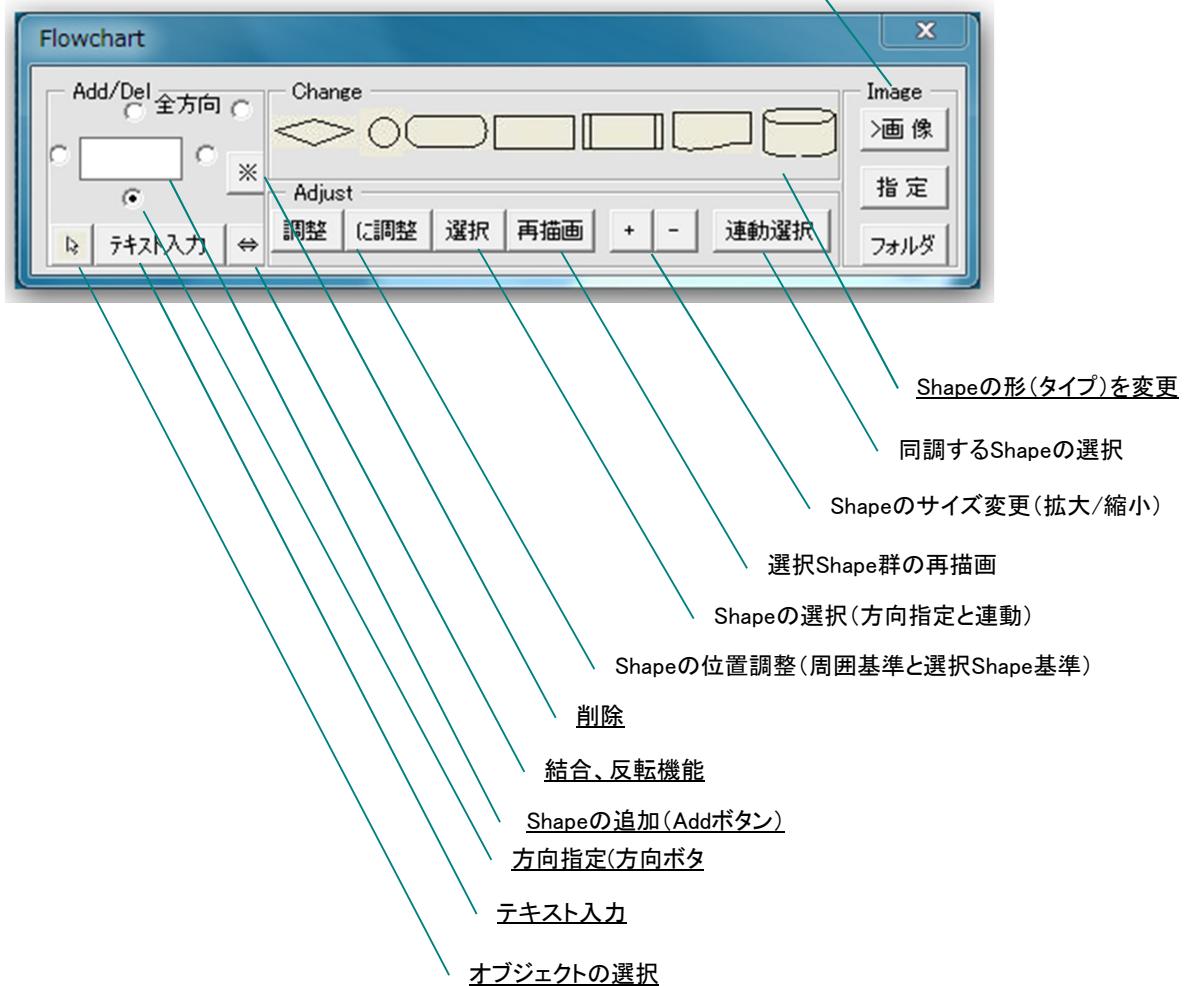
- ③ アドinctabが追加されてFlowchartメニューが表示されます。



2. メニューボタン

[フローチャート]

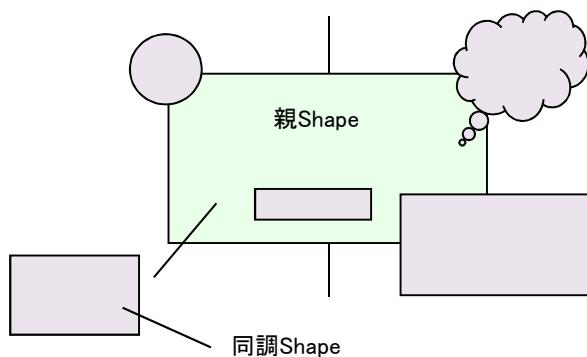
画像処理関連(フォルダ指定/画像へ変換)



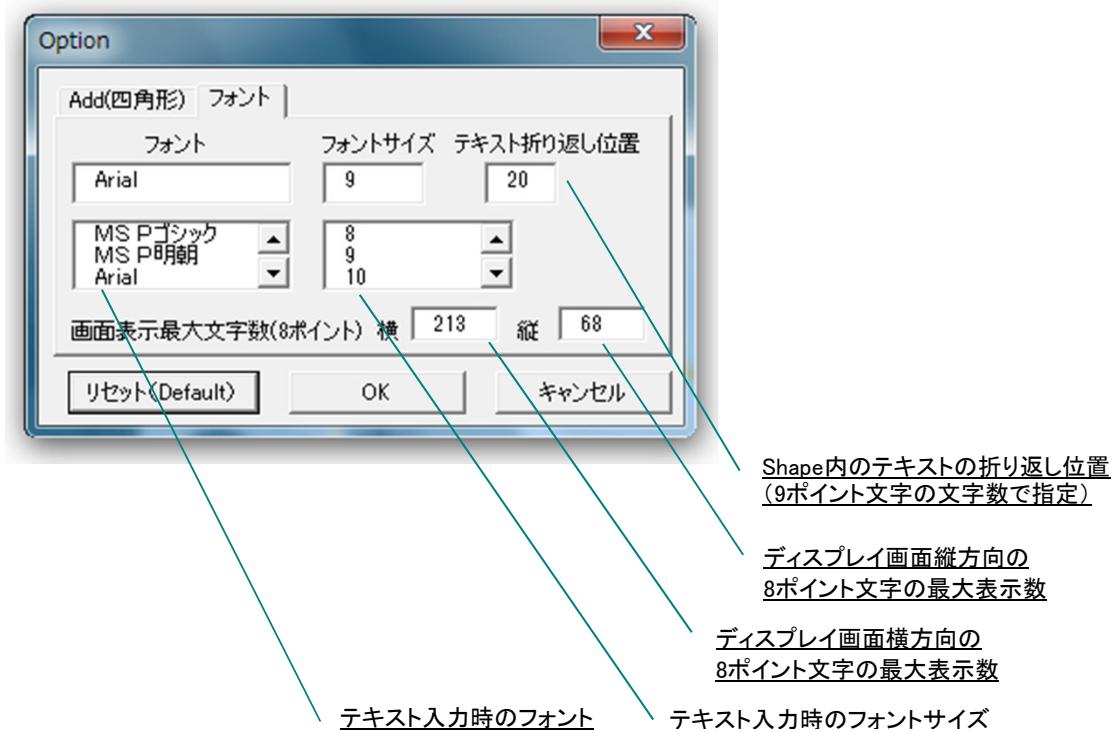
用語の説明

Shape: 挿入タブ>図形から呼び出して挿入できる図形やテキストボックスなどの総称です。

※同調Shape
コネクタで結合されているShapeの境界内に全体あるいは一部がかかっているShapeおよび、
Shapeの境界内に足の座標がある吹き出しへは同調Shapeとして扱われます。
これらの同調Shapeは親Shapeの移動やサイズ変更に応じて位置が自動的に調整されます。



[オプション]



3. 基本的な操作

[追加]



Shapeを選択していない状態で「Add」ボタンをクリックすると選択セルの位置にFC「処理」が追加されます。必要に応じて適当な位置に追加されたShapeを移動してください。

① Shapeを書き出したい位置のセルを選択する

(ボタン機能を実行して作成、変更されたShapeを示します)

③ Shapeが追加される



Shapeを選択し、「方向」ボタンを選択後、AddボタンをクリックするとそのShapeの指定方向に新しくFC「処理」が追加され、コネクタで結合されます。(このケースでは下側に追加)

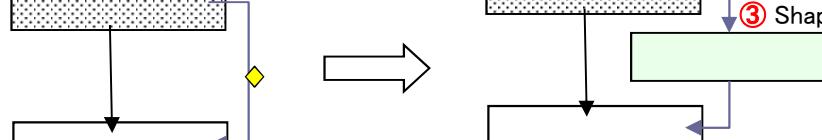
① Shapeを選択する

④ Shapeが追加され、コネクタで結合される



Shapeを選択し、「方向」ボタンをダブルクリックすると、その方向にカギ線付コネクタ(調整ハンドルが1つ)が結合されていると(※)、調整ハンドル(黄色菱形)の位置に新しくFC「処理」が追加されます。

① Shapeを選択する



② 「方向」ボタンをダブルクリックする

③ Shapeが追加される

※ 通常の直線コネクタおよび、調整ハンドルが複数あるカギ線コネクタでは、Shapeの追加は行われず
指定方向のShapeが選択状態になります。

※ 因みに調整ハンドルは、コネクタが選択されている状態で表示されます。

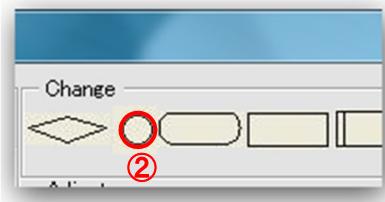
[テキスト入力]



「テキスト入力」ボタンを押すとテキスト入力用の画面が表示されます。
テキストを入力後、Shapeを選択して「入力」ボタンを押すとテキストが入力されます。

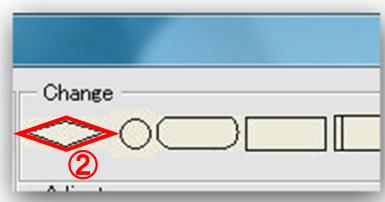
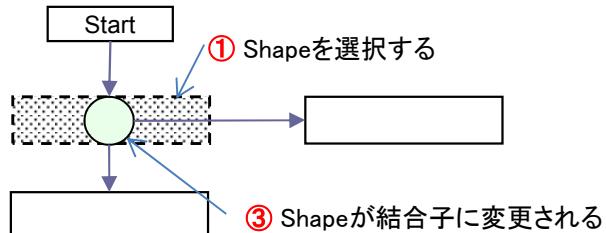


[Shape変更]

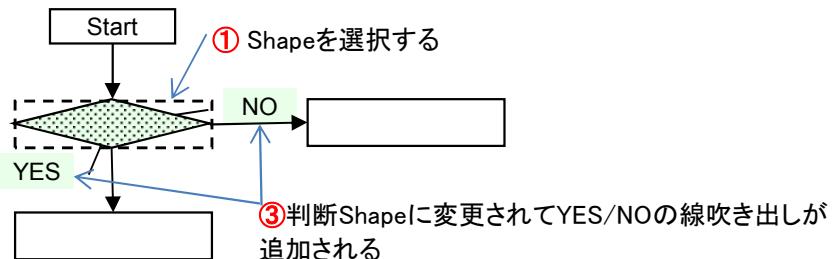


Shapeの形を変更する場合は、Shapeを選択してChange枠の希望のボタンをクリックします。この例ではFC「結合子」に変更しています。

Change枠内の各ボタンは複数のFCタイプを持っており、クリックのたびに次のタイプに切り替わります。(1種類しかないものもあります)



FC「判断」ボタンをクリック時に、もし選択されたShapeに分岐があれば「YES/NO」の線吹き出しが追加されます。



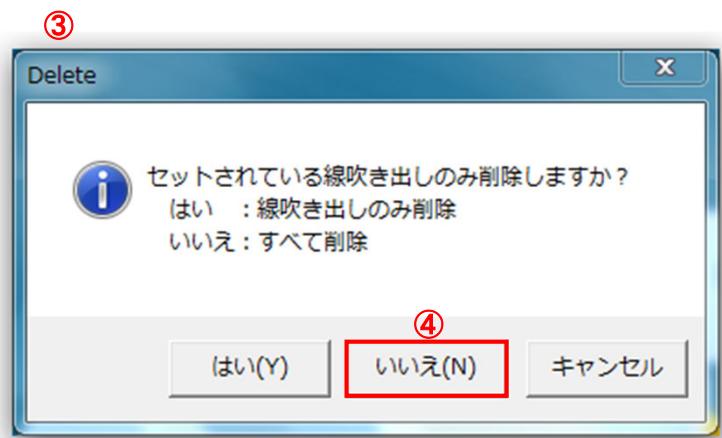
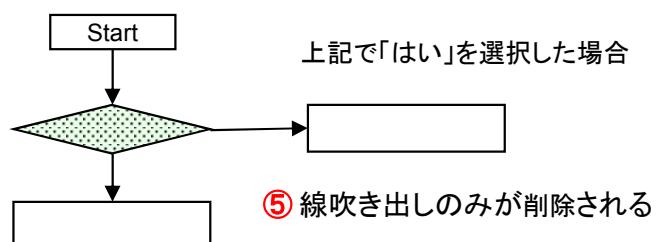
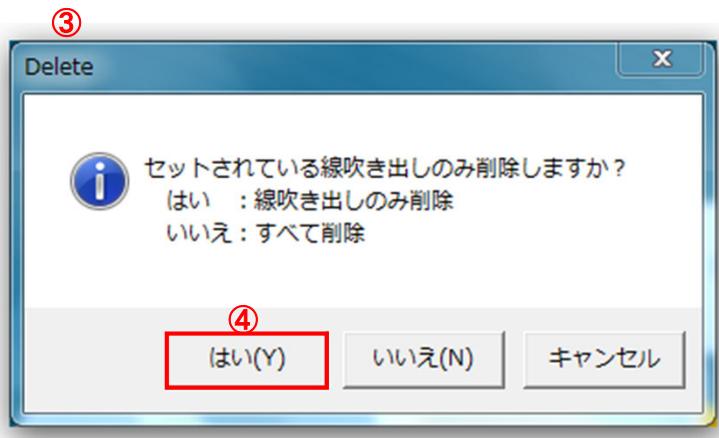
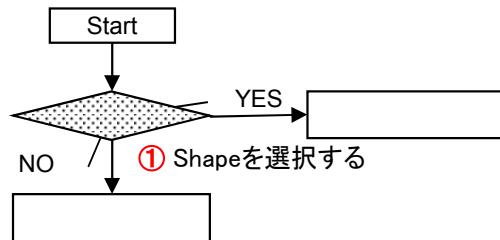
FC「判断」Shapeを選択して「↔」ボタンをクリックするとセットされている「YES/NO」の線吹き出しが逆になります。(YES→NO/NO→YES)



[削除]



Shapeを選択して「削除」ボタンをクリックするとShapeが削除されます。
線吹き出しがセットされている場合は線吹き出しのみ削除、すべて削除の選択ができます
ので表示された下記の画面で削除方法を指定してください。



Start 「いいえ」を選択した場合

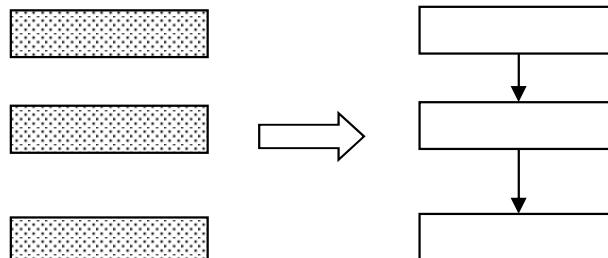


⑤ Shapeとコネクタが削除される

[結合]



複数のShapeを選択して「↔」ボタンをクリックすると方向指定を参照して直線コネクタで結合します。

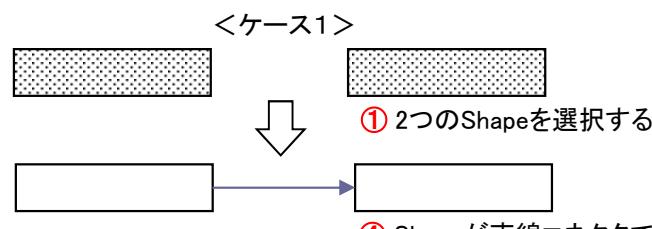


① 複数のShapeを選択する

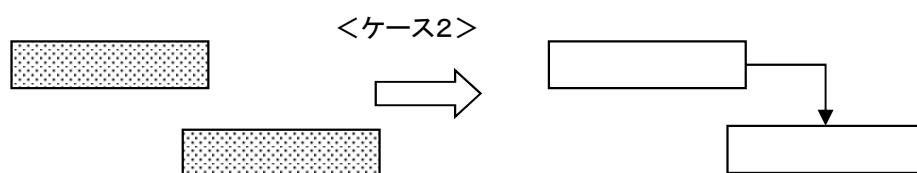
④ Shapeが指定方向にコネクタで結合される



2つのShapeを選択して「↔」ボタンをクリックすると指定方向を参照してShapeの位置関係より直線または、カギ線コネクタで結合します。方向指定は上側のShapeに対しての指示になります。

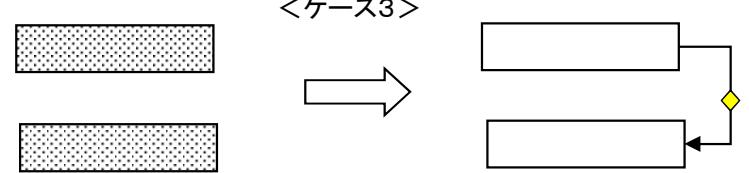


④ Shapeが直線コネクタで結合される



① 2つのShapeを選択する

④ Shapeがカギ線コネクタで結合される
(調整ハンドルなし)

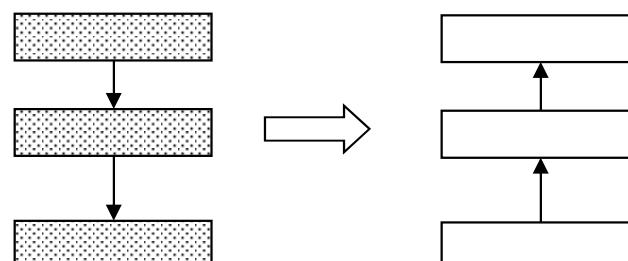


① 2つのShapeを選択する

④ Shapeがカギ線コネクタで結合される
(調整ハンドルが1つ)



選択Shapeの中にコネクタが含まれている状態で「↔」ボタンをクリックするとすべてのコネクタの矢印の向きが逆になります。



① 複数のShapeを選択する

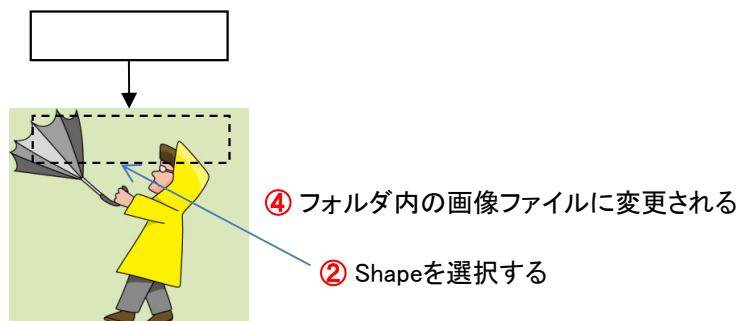
③ 含まれているコネクタの矢印の向きが逆になる

[画像]



画像を使用したい場合は、まず「フォルダ」ボタンで画像ファイルを置いたフォルダを指定します。次にShapeを選択して「>画像」ボタンをクリックすると取り込んだ画像ファイルに変更されます。

「>画像」ボタンをクリックするたびにフォルダ内の次の画像に切り替わります。
「指定」ボタンで任意のフォルダ内の画像ファイルを選択指定することもできます。



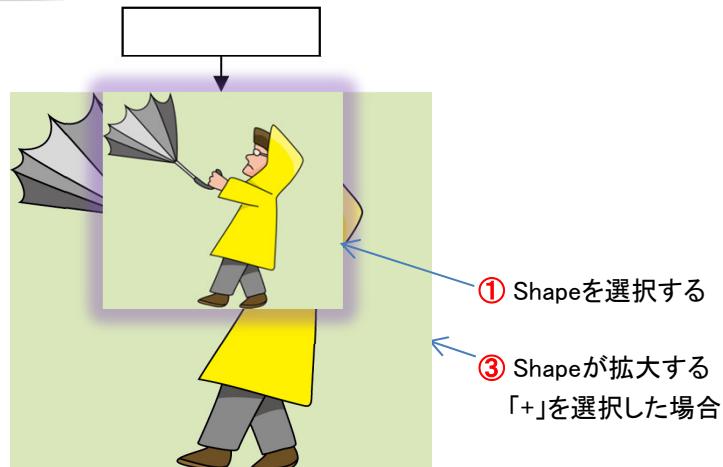
[サイズ変更]



選択Shapeのサイズを変更したい場合は、「+」、「-」ボタンを使用します。

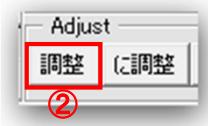
「+」: クリックのたびに25%サイズアップします。

「-」: クリックのたびに25%サイズダウンします。

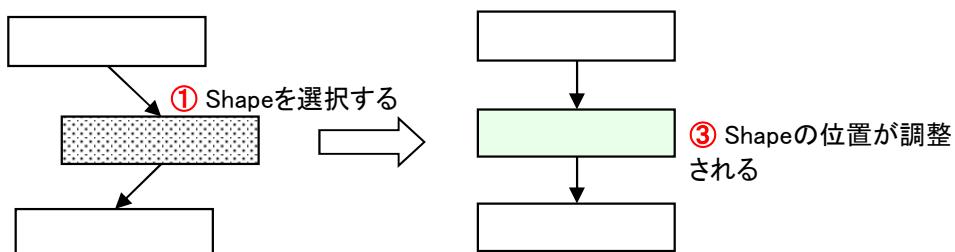


4. その他の操作

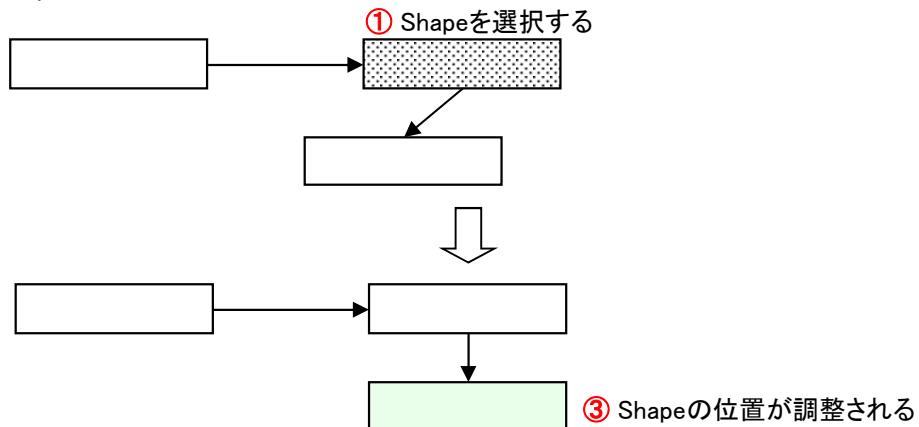
[位置調整]



不揃いになっているShapeを選択してAdjust枠の「調整」ボタンをクリックすると周囲のShapeを基準に位置が調整されます。



Shapeを選択してAdjust枠の「に調整」ボタンをクリックすると選択Shapeを基準に周囲のShapeの位置が調整されます。



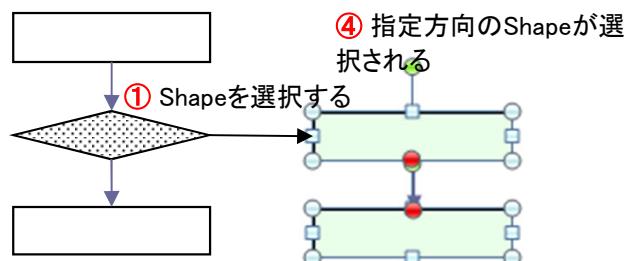
※ フローチャートの開始Shape(一番上側)の位置調整はキャンセルされます。

結果としてチャートの開始Shapeと直下のShapeの位置ズレを起こす場合がありますので、適宜「調整」ボタンで追加調整してください。

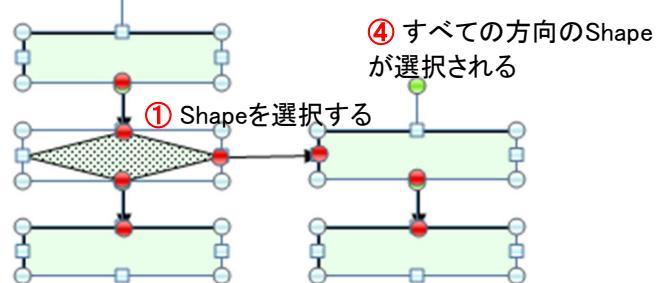
[選択]



Shapeを選択し、「方向」ボタンを指定後、「選択」ボタンをクリックすると指定方向に結合されたすべてのShapeが選択されます。



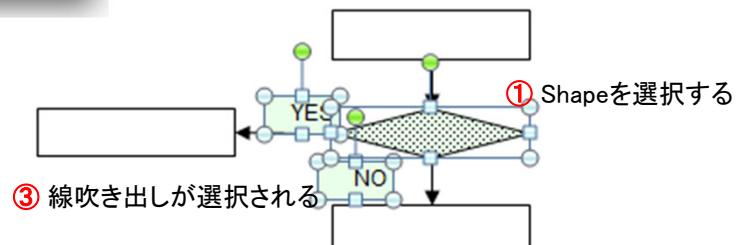
Shapeを選択し、「全方向」ボタンを指定後、「選択」ボタンをクリックすると選択Shapeに結合されたすべてのShapeが選択されます。



※「選択」ボタンをクリックしたときにShapeが選択されていない場合はシート上のすべてのShapeが選択されます。



Shapeを選択し、「連動選択」ボタンをクリックするとそのShapeにセットされている線吹き出しおよびその他の同調Shapeが選択されます。

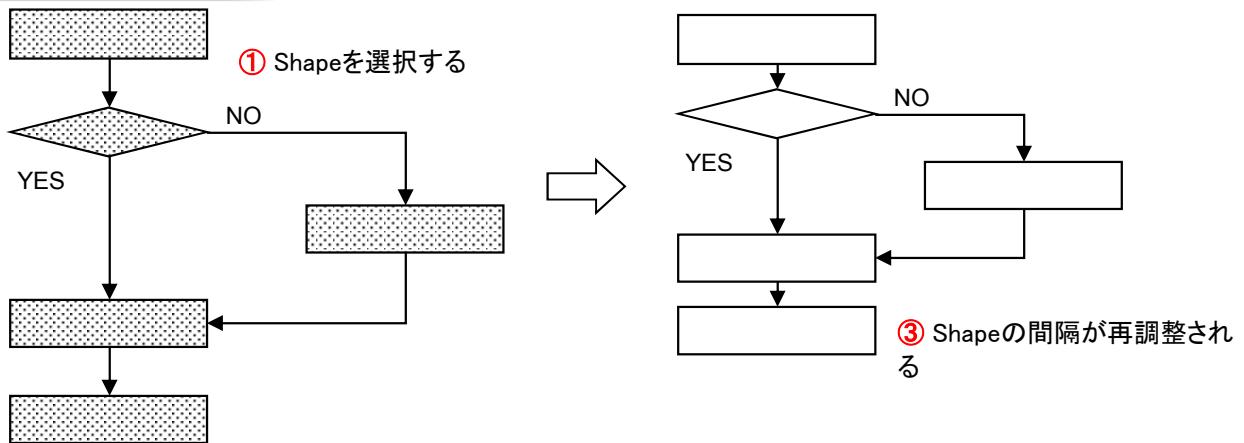


※ 選択された複数のShapeを手動で移動する場合はShapeの内部を掴んで移動してください。
(Shapeの境界を掴んで移動すると線吹き出しがうまく連動しません)

[再描画]



Shape範囲を選択して「再描画」ボタンをクリックするとオプションメニューでセットされている縦/横方向の間隔をもとに選択範囲内のShapeが再描画されます。
(下記はオプション画面で間隔を半分に詰めてから再描画を実施したケース)

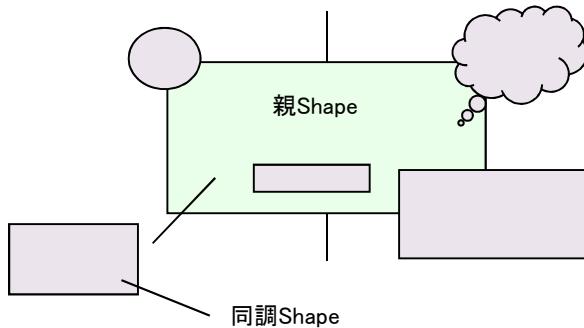


※カギ線コネクタで結合されているShapeは再描画処理をしていません。
必要に応じて手動で位置調整を実施してください。

5. 使用上の注意とヒント

[グループ化]

コネクタで結合される親Shapeにグループ化したものは使用しないでください。
(グループ化されたものではコネクタの結合判定や結合処理が正しく処理できません)



※ 因みに同調Shapeにはグループ化したものを使用することができます。

[Shapeのドラッグ]

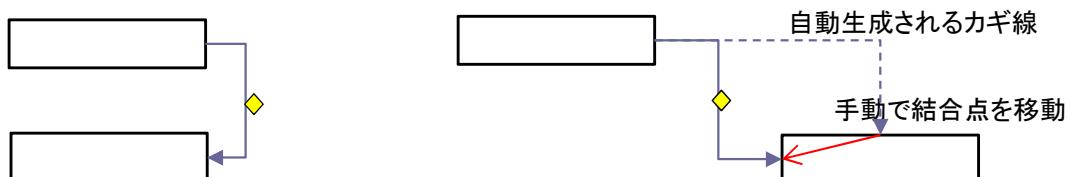
単一または複数のShapeを選択して手動でドラッグしてこれらのShapeの位置を変更する場合に、「Shift」キーを押した状態でドラッグすると縦または横方法の位置を固定した状態で位置を変更できます。

[カギ線]

Shapeの結合に直線およびカギ線コネクタを使用しますが、カギ線コネクタについては、自動結合をサポートするのは調整ハンドルが1つのカギ線のみです。但し、下記の右側のような結合は指定できませんので、必要に応じて手動で結合点を移動してください。

また、調整点を持つカギ線コネクタで結合されるShapeは、位置調整の基準Shapeとして扱っていません。(※)
従い、「調整」、「に調整」、「再描画」処理後に適宜手動で追加調整してください。

※ 一意的に調整後の位置を決定できないため



※ 自動結合をサポートしているカギ線

※ 自動結合をサポートしていないカギ線